

■避難行動計画の掲載項目について

【凡例】赤文字：地震 青文字：津波・風水害 緑文字：土砂災害 黒文字：その他全般

項目	第1回策定会議で出された意見（北区）	掲載項目（案） ※太文字は、他区の意見を参考に追加	知りたい度			追加したい内容
			A	B	C	
①災害の基礎知識・ 基礎情報	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化の状況と避難の方法 ・津波想定水位（浜名湖畔、気賀沿岸部等） ・測定ポイント以外の河川水位状況 ・浜北区と三方原台地の境界部（崖地）の危険性の周知 ・正確な情報の掲載（知識も含め） ・自分が住む地域の地盤、地形を知る ・避難勧告の具体的な発令基準 ・液状化発生時の対応 ・竜巻に関する知識（対応） 	1 地震と津波の発生メカニズムと被害想定 2 洪水のメカニズムと被害想定 3 土砂災害のメカニズムと被害想定 4 過去の災害履歴紹介				
②その他の知識	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地における避難所の選定方法 ・生活道路（都田川の橋梁等）の被害予測 ・非常持ち出し品の確認 ・救助方法 ・加入している保険内容の熟知 ・過去の言い伝えを活かす ・消防団に対する理解、自主防災組織や自治会の役割の周知 ・防災訓練のあり方や参加の重要性 	5 普段からの備え（非常用袋準備リストなど） 6 けがの際の救護方法 7 ペットの対応 8 避難所の紹介（場所、設備、備蓄品など） 9 自主防災隊組織の紹介				
③意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、行動する力を養う ・地域・人づくり、向こう三軒両隣の重要性（共助）、ご近所パワ ・コミュニティ ・住民意識の向上 ・日頃の防災訓練のあり方 ・災害時の行動を考える 	10 各家庭、地域ごとの避難経路設定のすすめ 11 自助、共助の大切さの訴え				
④高齢者・要援護者・ 災害弱者	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者の安全確認 ・山間地における高齢者世帯の対応 ・高齢者や要援護者の支援（共助） ・要援護者の避難方法 ・災害状況意思表示（リボン立て）の活用 	12 要援護者などの避難行動（普段からの備え、災害時の対応など）				
⑤情報収集・伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の情報の伝達方法 ・降雨量、河川水位、山崩れ等の情報 ・家族との連絡方法 ・同報無線以外（豪雨、強風で聞こえにくい）の情報伝達手段（受信機や防災ほっとメールなど） ・指定避難所以外に避難している人への情報伝達 ・情報伝達手段の複数確保 	13 自ら災害情報を得る方法 14 家族、仲間などの安否確認方法 15 各種情報の種類（避難勧告・指示の違い、サイレンの種類など） 16 情報伝達体制				
⑥発生前の減災方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家具・家財等の転倒防止対策の徹底 ・地震時に火を出さないための注意 	17 家や塀などの耐震化のすすめ 18 家の中の備え（家具固定、家具配置の工夫など） 19 初期消火方法の紹介				
⑦災害発生後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・まず避難する 	20 とっさのときの身の守り方 21 地震や津波の避難のタイミングと行動ポイント 22 洪水時の避難のタイミングと行動ポイント 23 土砂災害の避難のタイミングと行動ポイント 24 帰宅困難者対応の紹介 25 外国人の対応（避難方法の周知、意識啓発など）				
⑧防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・潮位、海拔 ・正確な災害危険箇所を掲載（デフォルメしたイラストなどでマップ作成） ・災害に併せた避難地・避難所（分りやすく表示） ・ボランティアセンター設置場所と役割 ・道路幅員（色を分けて表示） ・貯水槽、消火栓 	26 各災害の被害想定（ハザードマップなど） 27 各災害の危険箇所（災害履歴など） 28 各種避難所、幹線避難路 29 防火水槽などの防災設備 30 病院、救護所などの医療施設 31 標高、地形情報など				